事業所名	Grabity LiNE	支援プログラム（放課後等デイサービス）	作成日	2024 年	12 月	30 日

法人（事業所）理念		私たちは、一人ひとりの個性を尊重し、誰もが持つ可能性を信じ、豊かな未来を共に創造することを理念とします。人と人がつながり合い、支え合う社会を目指し、子どもたちの成長と自立を支援する中で、希望と共生の輪を広げます。 すべての活動を通じて、子どもたちが自己を理解し、自らの力で未来を切り開くための土台を築くことを目指します。そして、個と社会が調和する新たな価値を創出し、誰もが安心して生きられる社会の実現に貢献します。				
支援方針		一人ひとりの特性に合わせた支援を行うため、遊びや学習、体験を通じた丁寧なアセスメントを行います。子どもたちが目標に向けて必要なことを自ら考え、実践できるよう、プロセスを重視した支援を提供します。 また、対人関係や学校生活などの悩みについて話し合い、具体的な解決策を一緒に考え、安心して生活できる環境づくりをサポートします。				
営業時間		()内は学校休業日の営業時間 11(8) 時 0(30) 分から 20(17) 時 0(30) 分まで		送迎実施の有無	あり（○） なし	
		支　援　内　容				
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣の確立を目指し、タイマーやスケジュール、絵カードなどの視覚支援を活用して、子どもたちが切り替えや見通しを理解しやすくする支援を行います。また、発達状況に応じて生活スキル向上のための個別目標を設定し、トイレや食事などの自立度を丁寧に把握しながら、スモールステップで成功体験を積むことを目指します。 これらの目標は、日々の活動に組み込み、継続的に評価と見直しを行うことで、子どもたち一人ひとりに最適な支援を提供し、自信と成長を促します。				
	運動・感覚	子どもたち一人ひとりの感覚過敏などに配慮した環境設定を行い、安心して活動できる場を提供します。ブロック遊びなどを通じて巧緻動作の向上を目指し、粗大運動を取り入れた活動を実施することで、感覚刺激への適応力を高め、安全に日常生活を送ることができるよう支援します。				
	認知・行動	立体的なブロック遊びやゲームを通じてルールの理解をサポートし、日常生活における空間認識やこだわりへの対応力を育みます。こだわりや環境の変化に対するハードルを、子どもたちに寄り添いながら少しずつ乗り越えられるよう支援します。また、視覚的な情報を活用して成果を実感できるようサポートし、柔軟な対応力を養います。				
	言語 コミュニケーション	あいさつや会話などの日常的なコミュニケーションを重視し、子どもたちが自然に他者と関われるようサポートします。グループでのゲームや活動を通じてコミュニケーションの場を増やし、ルールを守りながら他者と協力する力を育みます。 さらに、子どもたちが自分の気持ちや考えを言葉で表現できるよう、段階的な支援を行います。必要に応じて絵カードやコミュニケーションボードといった補助ツールを使用し、視覚的に分かりやすい方法を取り入れ、個々の理解に合わせて適切な支援を提供します。これにより、表現力を高め、自信を持って他者と関われるようになることを目指します。				
	人間関係 社会性	集団での活動や遊びを通じて、役割分担や協力、他者を尊重する重要性を学べる場を提供します。これにより、子どもたちが自然な形で社会性を身につけられるよう支援します。活動の中では、ルールを守ることや順番を待つことなど、社会生活に必要な基本的なスキルの定着も目指します。 また、必要に応じてソーシャルスキルトレーニング（SST）やロールプレイを活用し、具体的な場面を想定した練習を行います。これにより、他者の気持ちを理解し、自分の行動が相手に与える影響を考えられるように支援します。これらを通じて、子どもたちが人間関係を築く力を育み、自信を持って社会に適応できるようサポートします。				
家族支援		家庭との連携を重視し、最低でも月に一度、保護者と対話の機会を設けています。この場で、子どもたちの現状や日々の成長について共有するとともに、家庭や学校での課題や悩みについて話し合い、一緒に解決策を考えます。		移行支援	進学や進級、福祉施設、公共施設、就職先などの環境変化に伴い、必要に応じて情報提供や会議の場を設けます。関係機関と連携し、本人にとってストレスの少ない移行を実現できるよう支援を行います。また、移行先の環境にスムーズに適応できるよう、事前準備や調整を丁寧に行います。	
地域支援・地域連携		地域での行事への参加や関係機関への情報提供を通じて、地域との連携を深めています。これにより、子どもたちが地域社会の一員として自然に関わりを持ち、地域全体で支え合う環境づくりに貢献します。		職員の質の向上	月に一度、個別支援プログラムについて職員全員で話し合う機会を設け、支援内容の見直しや改善を図っています。また、職員のスキルアップを目的とした研修の機会も定期的に提供し、質の高い支援を継続的に実現します。	
主な行事等		季節を感じることができる行事を取り入れています。（クリスマスやハロウィンの飾りつけなど）				